
異端の契約者と救世主

鮮血

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異端の契約者と救世主

【Nコード】

N8850X

【作者名】

鮮血

【あらすじ】

妖魔と言う生物が世界に突然現れた。世界の人々は超能力に目覚めこれで妖魔との争いがはじまった。この時代の人々は能力が使えるのが当たり前の世界で能力が発見されなかった、一人の少年がいた。この少年は能力があるのに能力が発見されなかった矛盾とは。

プロローグ（前書き）

説明の様な物なのでかなり短いです。
こんな小説ですけど読んでくれると、嬉しいです。

プロローグ

この世界は、救世主達によって救われた。

一度この世界は突如現れた生物によって破壊されかけた、だがその時人間達はあ超能力に目覚めた。

この目覚めた超能力によって人間達はなんとか勝った。

突如現れた生物を妖魔と呼ばれるようになった。

この時目覚めた能力の強かった三人がいたこの三人は、後に救世主と呼ばれるようになりこの三人がいた家系は能力の強い者が生まれるようになった。

今は三大能力者家と呼ばれるようになった。

今でも妖魔との争いは続いている。

妖魔はこの世界の生物でない事がわかった、なぜ妖魔がこの世界の生物で無い言う妖魔の遺伝子はこの世界の生物でない遺伝子を持つていたからである。

その後の研究で世界は、二つ見つかった一つは妖魔の住む世界もう一つは人間が住んでいるサナク。地球とサナクは、妖魔に襲われていたがサナクは地球より前に超能力があり妖魔と戦っていた。

地球とサナクは、今後も妖魔が襲ってくると考え対妖魔学園を地球とサナクに建てることにした。

こうして長く続く妖魔との争いが、はじまった。

プロローグ（後書き）

こんな感じで書いて行くので、よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8850x/>

異端の契約者と救世主

2011年10月24日13時08分発行